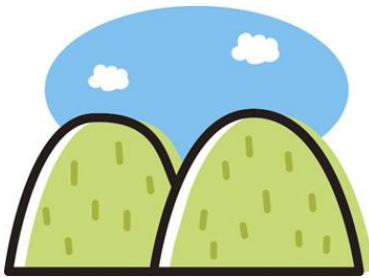


頸城区 45号 2023・10 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 530-2311 FAX 530-2001

令和5年度 地域独自の予算事業の活動内容

頸城区の活性化に向けた令和5年度の地域独自の予算が4月からスタートしました。頸城区では9件の事業で合計7,993千円の予算となっています。頸城区のまちづくりのテーマ(将来像)「住みたい、訪れたいまち頸城区」を一緒に実現しましょう。今回は、8月までに実施された活動内容をお伝えします。



地域協議会委員 新保 哲男

大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業

雁金城は春日山城を守る重要な場所です。春日山城に狼煙を使って連絡をする最後の拠点とされています。狼煙を上げる高台は標高156メートルで、頸城区の中でも最も高い位置にあります。その場所からの眺めはとても美しく、頸城平野はもちろんです。遠くには日本海や佐渡が一望できる最高のスポットとなっています。隣接している大池いこいの森キャンプ場で、今年度も地元住民による遊歩道の整備や、雁金城跡保存会が山道や周囲の維持管理を行っています。

また、8月には謙信公祭で狼煙上げや詩吟、刀を使った藁切りのパフォーマンスが行われ、非常に賑わいました。登りやすい山道があるため、雁金城跡はトレッキングコースとしても利用されており、山城が好きな方はもちろん、多くの方に訪れていただきたいと思えます。



地域協議会委員 佐藤 学

大池の四季を感じる散策ツアー事業

頸城区の最も魅力的な観光スポットである大池・小池を活かした四季を感じるツアーを開催しました。

新緑が美しい5月と6月には「ササユリを見る」ツアーを行い、大池の周辺に咲き誇るササユリを中心に、約3kmの散歩道をゆっくり歩いて季節感を味わっていただきました。

さらに、7月には「きのこを見つける」ツアーも開催。一般的には秋に連想されるきのこですが、実は夏でもたくさん見つけることが可能です。ツアー当日には62種類のきのこを見つけることができ、その魅力を学ぶことができました。

これからも、大池・小池を中心に、地域の様々な魅力を感じていただくための事業を展開していく予定です。今後の取組にご期待ください！

令和5年度 地域独自の予算事業の活動内容



大池いこいの森施設運営事業

風光明媚な景色、豊かで魅力あふれる自然を活用する拠点としてのビクターセンターは、キャンプ場利用者への薪や炭の販売、予約でのシヤワー室有料使用、近隣区外施設の優待券配布などで利用拡大を図っています。館内ロビーやトイレは無料で利用できることから、周辺遊歩道散策者の来場があり、施設を運営している頸城区観光協会では自動販売機の設置やコーヒー販売なども行い収益向上にも努めています。

また、周辺には民家が無く非常時のシェルターとして重

要な役割も担っています。しかし、エアコンの老朽化による宿泊制限や設備のトラブルもあり、宿泊、イベント利用は限られた団体の利用のみとなっています。現在、修理も少しずつ進んでいますので、利用拡大に向け、見晴らしも良く安価で利用できるなど情報を積極的に発信することが必要だと感じます。

地域協議会委員 西巻 肇



ふるさとの宝を保存し、

後世に歴史的意義を伝える事業



くびき野レールパークという希少な財産の保存活動は、地域活動の中でも非常に珍しく、貴重な取組です。「郵便」の愛称で高度成長期を支えた蒸気機関は当時の面影をそのままに百間町の地に眠っています。

年に数回の公開日には多くの鉄道愛好家を引き付け、魅了しています。公開日の運営は、ボランティア有志が前夜からメンテナンスや全体の運営準備を行っています。施設やレールの老朽化は避けられず、こうした点検ももちろん有志の力によるものです。

イベントでは様々なアイデアを組込み、訪れる人々に楽しんでもらえる仕掛けが用意

されています。絵本の朗読や、プラレールで遊べるコーナー、飲食や物販の出店などがあります。親しみやすい環境を作ることを目的としており、また、未来を担う子供たちへの伝承活動にもなっています。

課題は多くありますが、支える人づくりと車体の整備・修繕が必要不可欠です。関係各位の日々の努力に感謝しつつ、意見や要望をお聞きしながらこの活動を盛り上げていっていただきたいし、微力ながら協力したいと考えています。

地域協議会委員 滝本 篤透

9月以降に実施した事業は地域協議会だより第46号でお知らせします。



花の苗里親育成事業

頸城区の地域独自の予算事業で、区内を花いっぱいにして美しい頸城区にするために花を増やす活動として、挿し木の講習会を開きました。6月と7月の2回、坂口記念館で開催し、大勢の頸城区の皆さんの参加をいただきました。

講習会では、雪椿とアジサイの二種類の挿し木を体験しました。最初に講師から母木の説明を受け、その後枝葉の切り詰め方などの指導を受けました。育成ポットに土を入れ、水に浸し、切り詰めた木をポットに植え付け講習は終わりました。植え付けたポットは各自持ち帰りました。大きく育て、近くの通学路などに植えて美しい頸城区にしていきたいと思っています。

地域協議会委員 山本 誠信

頸城線植栽モデル事業

頸城区では、令和5年度の植栽モデル事業で「季節の花が咲く通学路」として実施してきました。

さらに令和6年度に向けて取り組んでいます。頸城区内を大漕地区、南川地区、明治地区の三つに分けて、それぞれに花を植えていきます。三つの地区で各々植栽し、これらの地区を巡りながら季節ごとに変わる花々を見て、その美しさを楽しんでいただきたいと思います。

南川地区では、外国人との交流の場で日本の花と、可能であれば

ば外国の花も見ることができれば楽しい時間を過ごせるのではないかと考えておりますし、明治地区には大池と小池があり、花を眺めながら散歩を楽しんでいただければと考えています。そして、他の地域からも訪れたくなるような地域作りに、頸城区の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

地域協議会委員 小川 泉

外国人居住者が参加するファーマーズマーケット事業

7月上旬、外国人居住者との交流を目的としたファーマーズマーケットが開催され、多くの来場者に恵まれ大盛況でした。

ファーマーズマーケットの一番の目的は、「住民が楽しく交流し、顔見知りになること」です。10月には南川地区で大規模な避難訓練が実施される予定ですが、国籍を問わず、全ての住民が安全に確実に避難できるような災害によって異なる避難ルートや避難場所の情報を共有することが必要であると考えています。交流イベントを通じて、少

しでも外国人居住者の避難訓練への参加が増えることを強く願っています。緊急時には国籍や言語を問わず、全ての住民が互いに協力し、手を取り合う互助体制を整えば、安全・安心に暮らせる頸城区になるのではないのでしょうか。皆さんの意見をお聞きしながら、ファーマーズマーケットをより良いものにしていきたいと思っています。

地域協議会委員 橋本 春美



地域協議会のうごき

<協議会開催の経過>

■ 4月19日 第1回地域協議会

- ・令和5年度地域独自の予算に係る周知等について（協議）
- ・新潟県南部産業団地の現状について（報告）

■ 5月17日 第2回地域協議会

- ・地域独自の予算に係る若い世代に向けた周知について（協議）
- ・視察研修について（協議）
- ・頸北地区地域協議会委員合同研修会について（協議）
- ・くびきまちづくり隊について（報告）

■ 6月21日 第3回地域協議会

- ・視察研修会について（協議）
- ・頸北地区地域協議会委員合同研修会について（協議）
- ・地域独自の予算に係る若い世代との意見交換会の開催について（報告）

■ 6月29日 地域独自の予算に係る若い世代との意見交換会

- ・地域協議会のこれまでの取組、地域独自の予算の概要、令和5年度地域独自の予算事業実施状況（報告）
- ・令和6年度以降の地域独自の予算で取り組む新規事業について（意見交換）
- ・若い世代から地域独自の予算制度への理解を深めていただくための周知方法について（意見交換）

■ 7月19日 第4回地域協議会

- ・令和6年度地域独自の予算について（協議）
- ・視察研修（案）について（報告）
- ・頸北地区地域協議会委員合同研修会（案）について（報告）

■ 8月17日 第5回地域協議会、地域独自の予算意見交換会

- ・令和6年度地域独自の予算について（協議）
- ・視察研修及び頸北地区地域協議会委員合同研修会の日程について（報告）
- ・令和6年度地域独自の予算について（意見交換）

令和6年度地域独自の予算

事業提案予定

- ①大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業
- ②大池の四季を感じる散策ツアー事業
- ③大池いこいの森施設運営事業
- ④ふるさとの宝を保存し、後世に歴史的意義を伝える事業
- ⑤読み聞かせを通して頸城のお宝を広める事業
- ⑥坂口記念館の特色を活かした講座事業
- ⑦花の苗 里親育成事業
- ⑧頸城線植栽モデル事業
- ⑨歌おう踊ろう！くびき国際交流フェスタ
- ⑩外国人市民の児童・生徒に対する学習支援事業
- ⑪頸城区の情報を定期的に発信するポータルサイト事業

頸城区の地域協議会の活動状況は市のホームページで公開しています。
詳しくはこちらの二次元コードからご覧ください。



編集後記

令和5年度第1回の地域協議会は、令和6年度の地域独自の予算に向けた論議からスタートした。若い世代の意見を聞きため、若い世代と多数の団体が集まり、話し合いを重ねた。議論に参加したのは頸城区の小中学校のPTA役員、上越市消防団頸城方面隊、頸城商工会、JAえちご上越頸城支店、上越市社会福祉協議会頸城支所の若い世代の方々、区内で活動している団体が、そして地域協議会委員だ。各々が過去の活動や団体の実績を共有し、「住みたい、訪れたいまち頸城区」の実現に向け、四つのコンセプトにまとめられている。①大池・小池を活かした観光、②くびきのお宝活用（レールパーク、坂口記念館）、③季節の花が咲く通学路、ポケットパーク、④外国人との交流とフアーマーズマーケットである。そして、提案された事業内容を地域協議会と頸城区総合事務所と精査し、令和6年度の予算要求に向けて進めていきたい。また、今後も一丸となり、提案した事業の推進に取り組んでいく。

（地域協議会委員 笠原 昇治）